

経済倶楽部便り

◆東京◆ 10月の講師に来て頂きましたキヤノングローバル戦略研究所の山下一仁氏は持論の農業改革論の中で、戦前の柳田國男氏と一緒に石橋湛山氏にも触れられました。その湛山氏は当然ながら経済倶楽部の常連講師でしたが、戦争末期の昭和19年3月に「食糧増産問題と農業の企業整備」と題して講演をしています。食糧増産に真に必要なのは一時的な緊急策ではなく、過剰な零細農家を三分の一に減らして大規模化し、生産性を引き上げることが肝要だとしています。そして余った農家の労力は工業へ回すべきで、それは英国に既に先例があると、今日で

も十分通ずる明快な議論展開しています。

10月からの新会員をご紹介します。曾根三景・一般社団法人外国為替貿易研究会理事長、堀井淳・オリックグループ広報部長の方々です。

12月の講師は(二財)日本総研会長の寺島実郎氏、筑波大学名誉教授の進藤榮一氏、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の嶋中雄二氏です。

◆中部◆ 10月に入り、栄地区では2020年を目途に、丸栄百貨店と通りを挟んで当倶楽部が入居する栄町ビルが一体開発されるとの報道がありました。これまで何度か出ては消えた話ですが、果たして今回はどうでしょうか。

12月の講師は東海東京調査センター専務の中井裕幸氏と双日総研の吉崎達彦氏を予定しています。
(日暮良一)